

宮古地区広域行政組合広報

平成31年1月1日発行
第9号

宮古地区広域行政組合
事務局総務課
宮古市千徳 14-121-5
電話 0193-64-2011

年頭のごあいさつ



宮古地区広域行政組合管理者 宮古市長 山本正徳

平成31年の年頭にあたり、宮古地区広域行政組合を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

宮古地区広域圏の住民の皆さまにおかれましては、常日頃より広域行政の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

平成31年は、引き続き、生活の安定に不可欠な一般廃棄物の処理業務並びに消防業務に全力を挙げて取り組んでまいります。

一般廃棄物処理業務では、組合を構成する市町村と連携しながら、資源循環型社会の形成に向け、ごみの減量化、資源化の推進に向け施策を継続するとともに、一般廃棄物処理施設を安定的、効率的に稼働することで、温室効果ガスの低減を図り、自然環境に配慮した施設の維持管理に努めてまいります。

消防業務では、昨年、通信指令センターに多言語119番通訳サービスを導入し、通報時及び救急現場における外国人と救急隊員のコミュニケーションを迅速に図れるよう整備いたしました。

また、平成31年度には、新里分署の老朽化に伴い、新里総合事務所への移転を計画し、更なる消防活動体制の強化を図るとともに、救急業務の高度化、火災予防行政の推進、消防施設整備など、総合的に施策を推進してまいります。

これらの業務を通じて、皆さまが安心、安全、快適に暮らせるよう、より一層、住民サービスの向上に取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さま方にとりまして、素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



宮古地区広域行政組合議会 議長 藤原光昭

新年あけましておめでとうございます。

宮古地区広域圏住民の皆さまには、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。宮古地区広域行政組合は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村が共同で、ごみ・し尿処理・救急救命・消防活動等の事務を行っている特別地方公共団体です。人口減少、少子高齢化の進展により、広域圏一体となった連携施策、事業展開など、市町村の行政需要への対応と連携は増々重要となってまいります。そのような中において、当組合の当面する取り組み課題は、資源循環型社会の形成に向けごみの減量化、資源化を推進するとともに、一般廃棄物処理施設の安定的、効率的な運営と生活環境の保持や、消防行政においては近年各地における大災害の続発を背景に、住民の消防行政に対する期待に的確に対応するため、広域的な視野に立ち地域防災力の強化を図ることが重要であると認識しております。

当議会としても住民の視点に立って、事務事業の執行に向けたチェック機能の役割を果たし、提案された議案を慎重審議し地域住民のサービスの向上に努め、安心、安全、快適に暮らせる共通の目的に向かって、連携を図って行ければと考えております。

本年が広域住民皆さまにとりまして佳き年であります様に、御祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

目次

- 2 職員の給与などを公表します
- 3 平成29年度歳入歳出決算報告
- 4 宮古地区広域行政組合職員の募集
- 5～7 事務局施設課からのお知らせ
- 8～9 多言語119番通訳サービス開始
- 10 緊急消防援助隊の活動報告
- 11 活躍する女性消防士
- 12 消防車両紹介

職員の給与などを公表します

平成29年度の「職員の給与・定員管理など」を公表します。

問い合わせ 宮古地区広域行政組合事務局総務課 (☎ 64-2011)

1) 総括

1 人件費(平成29年度決算)

管内人口 (H30.3.31現在)	歳出額(a) 千円	実質収支 千円	人件費(b) 千円	人件費率 (b/a)	人件費率 (H28年度)
82,384人	3,702,612	236,513	1,533,365	41.4%	29.3%

2 職員給与費(平成29年度決算)

職員数	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計
一般行政職 17人	62,811千円	11,350千円	24,891千円	99,052千円
消防職 193人	675,945千円	261,373千円	260,511千円	1,197,829千円
合計 210人	738,756千円	272,723千円	285,402千円	1,296,881千円

※職員数は平成29年4月1日現在の人数です。

職員手当には退職手当は含まれていません。

2) 職員の平均給与月額・初任給などの状況

1 職種別・学歴別初任給および経験年数別平均給料月額(平成30年4月1日現在)

区分		決定初任給	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大卒	168,600円	245,700円	279,600円	312,300円
	高卒	147,100円	212,200円	251,400円	286,800円
消防職	大卒	195,500円	261,000円	315,900円	352,300円
	高卒	166,000円	244,500円	267,900円	318,700円

2 平均給料月額と平均年齢(平成30年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	42.8歳	307,200円
消防職	36.0歳	292,302円

3) 職員の手当ての状況

1 期末・勤勉手当

◎1人当たり平均支給額(平成29年度決算)1,353千円

◎平成30年支給割合

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
勤勉手当	0.82月分	0.82月分	1.64月分
合計	2.045月分	2.195月分	4.24月分

※そのほか職制上の段階などによる加算措置があります。

2 退職手当(平成30年4月)

勤続年数	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.7090月分
最高限度	47.7090月分	47.7090月分
一人当たり平均支給額 (平成29年度退職者)	—	17,894,000円

【そのほかの加算措置】定年前早期退職特例措置
(2～45%加算)

3 そのほかの手当(平成29年度決算)

各種手当	支給実績(円)	支給職員1人当たり (平均支給月額)
特殊勤務手当	12,179,950	77,579
時間外手当	47,434,911	240,786
扶養手当	31,207,000	234,639
住居手当	16,502,640	323,581
通勤手当	27,846,600	153,003
夜間勤務手当	13,797,685	86,236
休日手当	57,937,853	294,101
管理職手当	8,150,400	582,171
単身赴任手当	912,000	456,000

4) 議員等の報酬

区分	報酬年額	区分	報酬日額
議長	45,000円	監査委員	識見を有する者 6,500円
副議長	42,000円		議会選出 6,500円
議員	40,000円		

注) 管理者及び副管理者の報酬は、支給していません。

5) 職員数の状況

部門別職員数の状況と主な増減の理由(各年4月1日)

部門	平成30年 (a)	平成29年 (b)	増減数 (a)-(b)	主な増減理由
一般行政職	17人	18人	△1人	組織の見直しによる減
消防職	197人	193人	4人	採用人数の増
合計	214人	211人	3人	

平成 29 年度決算

歳出の総額は
37億261万2千円

平成 29 年度の決算額は、歳入が 39 億 3,912 万 4 千円、歳出が 37 億 261 万 2 千円でした。

平成 29 年度宮古地区広域行政組合一般会計決算

【歳入】 (単位:円、%)

款	H29予算	構成比	対前年度 増減額
1 分担金及び負担金	3,044,172,000	77.3	△1,325,271,000
宮古市	1,752,564,000	57.6	△849,511,000
山田町	645,964,000	21.2	△152,162,000
岩泉町	460,303,000	15.1	△218,546,000
田野畑村	185,341,000	6.1	△105,052,000
2 使用料及び手数料	61,024,930	1.5	2,909,788
3 国庫支出金	461,878,400	11.7	2,522,720
4 県支出金	18,466,792	0.5	1,258,565
5 財産収入	14,125,165	0.4	13,765,165
6 繰越金	136,377,627	3.5	△304,338,659
7 諸収入	203,079,845	5.1	161,788,153
歳入合計	3,939,124,759	100.0	△1,447,365,268

【歳出】 (単位:円、%)

款	H29決算	構成比	対前年度 増減額
1 議会費	1,952,963	0.0	988,623
2 総務費	178,937,725	4.8	99,142,596
3 衛生費	1,251,168,385	33.8	△1,643,059,466
4 消防費	1,887,511,737	51.0	△86,999,575
5 災害復旧費	346,592,560	9.4	82,810,160
6 公債費	36,448,854	1.0	△382,514
7 予備費	-	-	-
歳出合計	3,702,612,224	100.0	△1,547,500,176

平成 29 年度に実施した主な事業

議会事業 1,952,963 円

宮古地区広域行政組合議会の開催、議員行政視察に要した経費です。

一般管理事業 81,621,865 円

職員の人件費と効果的な事務処理を図るための財務会計システム等の運用など、事務局の管理運営に要した経費です。

清掃総務事業 147,738,969 円

山田町、岩泉町、田野畑村のごみ収集運搬委託等に要した経費です。

山田町地域 60,316,272 円

岩泉町地域 66,006,338 円

田野畑村地域 21,286,800 円

ごみ焼却施設事業 285,125,028 円

職員の人件費と清掃センターの運転管理及び、施設の修繕等に要した経費です。

埋立処分地施設事業 127,196,038 円

職員の人件費と最終処分場の運転管理に要した経費、ホイールローダー、バックホー等の車両整備に要した経費です。

し尿処理施設事業 165,474,485 円

職員の人件費と衛生処理センターの運転管理に要した経費です。

汚泥混焼施設事業 11,651,835 円

下水処理に伴い発生した汚泥を焼却する施設の管理運営に要した経費です。

リサイクル施設事業 80,192,530 円

職員の人件費と缶・ビン・ペットボトル・プラスチック製容器包装・紙製容器包装・段ボール等のリサイクル施設の運転管理に要した経費です。

し尿処理施設基幹的設備改良事業 422,896,040 円

老朽化した宮古衛生処理センターの延命工事に要した経費です。

常備消防事業 1,594,598,997 円

消防職員の人件費と火災予防、警防、救急、救助業務等に要した経費です。

消防施設事業 292,912,740 円

庁舎1階屋上防水工事、監理業務委託

(宮古消防署) 11,988,000 円

車庫排ガス排出システム改修工事、設計業務、監理業務委託

(宮古消防署) 27,484,380 円

エアコン取付工事、設計業務委託

(宮古消防署) 5,688,360 円

消防緊急通信指令システム改修工事

(消防本部) 62,640,000 円

山田消防署通信設備移設工事

(山田消防署) 1,836,000 円

高規格救急自動車

(山田消防署) 35,856,000 円

消防ポンプ自動車

(宮古消防署、山田消防署) 113,940,000 円

消防施設災害復旧事業 346,592,560 円

山田消防署庁舎建設工事、監理業務委託

326,612,560 円

消防救急デジタル無線可搬型衛星通信装置

15,444,000 円

宮古地区広域行政組合職員の募集

【募集職種／採用予定人数／受験資格】

●事務局技術職員

初級機械／1人

受験資格

昭和63年4月2日以降に生まれた人で、高校卒業以上の学歴を有する人(卒業見込みも含む)。※ただし、次のいずれかに該当する人は受験できません。

■日本国籍を有しない人

■成年被後見人または被保佐人

■禁固刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの人

■宮古地区広域行政組合職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない人

■日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した人

●試験日／場所

■第一次試験＝1月27日(日)

午前9時30分受付、午前10時開始
会場／宮古地区広域行政組合事務局

■最終試験＝2月中旬

会場／宮古地区広域行政組合事務局

●試験の内容

【事務局技術職員】

■第一次試験＝教養試験、専門試験

■最終試験＝人物試験(個別面接)、
身体検査(健康診断書を提出)

●受験申込用紙の配布

12月17日(月)から次の場所で配布しているほか、組合ホームページからダウンロードできます。

●事務局技術職員

宮古地区広域行政組合事務局総務課、宮古市役所4階総務課、田老・新里・川井総合事務所1階窓口、山田町、岩泉町、田野畑村各役場総務担当課

web (<http://www.miyako-kouiki.jp>)

郵便請求の場合は、封筒の表に受験願書希望」と赤字で明記し、120円切手を貼ったA4版返信用封筒(住所、氏名を明記)を同封して、宮古地区広域行政組合事務局総務課庶務係まで請求してください。

●受付期間

平成30年12月17日(月)午前8時30分から平成31年1月11日(金)午後5時15分(土曜日、日曜日、祝日及び平成30年12月29日(土)から平成31年1月3日(木)までの間を除く。)持参、郵送ともに平成31年1月11日(金)午後5時15分必着。

●成績順位の通知

試験の結果不合格になった人で、希望者には試験の得点と順位をお知らせいたします。

●申し込み・問い合わせ

【事務局技術職員】

宮古地区広域行政組合事務局総務課庶務係
〒027-0058 宮古市千徳14-121-5
TEL0193-64-2011
FAX0193-64-2012

事務局施設課からのお知らせ

食品ロスを削減しましょう

食べられるのに捨てられている食品のことを「食品ロス」といいます。

食品ロスを削減することにより、ごみの量を減らし、処理費用を削減することにつながります。

食材を買いすぎない・使い切る・食べることなど、身近なところから取り組みましょう。

生ごみの減量化をしましょう

一般家庭の燃やせるごみのうち、生ごみが約半分を占めています。その生ごみの80%以上が水分といわれています。

組合では、生ごみの減量化に向けた取り組みのひとつとして、「ひと絞り運動」を推進しています。

●生ごみのひと絞り効果

- ひと絞りすることで約10%減量することができ、ごみ出しが楽になります。
- 生ごみの腐敗や悪臭が軽減され、ごみ集積所の環境改善になります。
- ごみの減量化により、収集車の運搬効率や処理施設での焼却効率が向上するため、二酸化炭素の排出削減、処理費用の低減になります。

●水切りアイデアの紹介

- お茶殻などの水分の多いものは、乾燥させてから捨てる。
- 三角コーナーの生ごみは、一晩おいてから捨てる。
- 水切りネットをひと絞り。
家庭でのちょっとした心がけが生ごみの減量化につながります。
皆さんもできることからチャレンジしましょう。

資源集団回収奨励金事業について

構成市町村では、町内会や子供会が実施する資源回収に対して、奨励金を交付しています。

奨励金は、資源回収量に応じて交付されております。奨励金についての詳しい内容については、お住まいの市町村の衛生担当課にお問い合わせください。

●平成29年度実績

市町村	交付団体数	交付金額	資源回収量
宮古市	72団体	1,508千円	498トン
山田町	8団体	1,896千円	318トン
岩泉町	29団体	2,055千円	851トン
田野畑村	9団体	476千円	166トン

資源ごみ売却代金について

みやこ広域リサイクルセンターで処理を行った資源ごみのうち有価となる缶類・紙類等と、一般廃棄物最終処分場の不燃ごみから回収した鉄くずを売却し、施設の運営費の一部として活用しています。

●平成29年度売払額

品目	売払額
アルミプレス	14,314,504円
スチールプレス	1,669,816円
段ボール	5,482,838円
新聞紙	12,970,556円
雑誌	5,399,121円
紙パック	144,707円
一升びん	71,155円
ビールびん	80,117円
鉄くず	5,857,314円
合計	45,990,128円

不法投棄、野焼きは犯罪です

ごみの不法投棄は、廃棄物処理法で5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金に処され、またはこれを併科されるという厳しい罰則が規定されています。

清潔できれいなまちを保全していくためにも、不法投棄は絶対にしないでください。

また、ごみの野焼きも不法投棄同様の罰則が規定されています。

悪臭や有害物質を発生させる恐れもありますので、絶対にしないでください。



スプリング付き粗大ごみの受入れについて

これまでスプリング付きベッド・マットレス等を搬入する場合は、燃やせる部分と燃やせない部分（スプリング）を分別する必要がありましたが、**分別せずに搬入することができるようになりました。**

※一般家庭から排出されるものが対象です。

■問い合わせ

- ・収集に関すること
お住まいの市町村の衛生担当課
- ・持込みに関すること
事務局施設課
☎0193-64-7111

ごみの持ち込みについて

集積所にごみを出せない場合や、一度に多量のごみを出す場合は、直接、ごみ処理施設に持ち込んでください。

直接、持ち込みができない場合は、お住まいの地域の許可業者に依頼してください。

※許可業者に依頼する場合は費用がかかります。

●受入場所

宮古市千徳14-111 計量棟

※一般家庭から排出される**資源物**は、直接、計量棟隣の「みやこ広域リサイクルセンター」に搬入してください。

●受入時間（施設共通）

午前8時30分～12時

午後1時～午後4時30分

※日曜日、1月1日～3日は休みです。

●ごみの分別区分

事務局ホームページに掲載している「ごみの分別受入辞典」または、お住まいの市町村で発行しているごみ分別辞典等をご覧ください。

●搬入方法

■事前の予約は不要です。受入時間内に搬入してください。

■ごみは、種類ごとに処理していますので、分別してください。

■ごみは種類により指定された袋を使用してください。

■地域ごとに排出量を集計しますので、係員の聞き取りにご協力をお願いします。

■燃やせるごみに燃やせないごみを混ぜないでください。

焼却炉の故障を招く原因となります。

■水銀が含まれるごみの出し方にご注意ください。

水銀が含まれるごみ（蛍光灯、ボタン電池、水銀体温計、水銀血圧計）は適正に処理するため資源物（有害ごみ）として回収しています。燃やせるごみに混ぜないよう分別してください。

●ごみ処理手数料

■家庭系一般廃棄物

【燃やせるごみ・燃やせないごみ】

50kgまで**無料**。50kgを超えた場合10kgごとに**50円加算**

※フロンガスを回収する必要があるごみは、1個につき**500円加算**。

【資源物・使用済小型家電】

無料

■事業系一般廃棄物

【燃やせるごみ・燃やせないごみ】

10kgまで**50円**。10kgを超えた場合10kgごとに**50円加算**。

【缶類・ビン類・ペットボトル】

10kgまで**30円**。10kgを超えた場合10kgごとに**30円加算**。

※個人消費に伴って排出されたものに限ります。

※事業活動に伴って排出されたものについては産業廃棄物として適正に処理してください。

■小動物の死体

1体につき20kgまで**1,000円**。
20kgを超える場合**1,500円**。

※ペットの処理の依頼があった場合の処理であっても廃棄物として取扱いますので、ご了承ください。

●ごみの収集運搬許可業者

地 域	業者名	電話番号
宮古市 宮古地域	リアス環境管理(株)	0193-62-0015
	宮古環境管理(株)	0193-63-7363
	建掃産業	0193-67-2176
	(株)宮古衛生社	0193-62-1997
	(有)ニコニコ総合企業	0193-63-4690

地 域	業者名	電話番号
田老地域	(有)田老衛生社	0193-87-2063
	(株)田川商店	0193-87-5356
	新里地域	新里衛生社
川井地域	(株)川井衛生	0193-76-2514
山田町	(有)山田清掃社	0193-82-4677
	(有)芳賀清掃社	0193-86-2826
	マルヨ産業運送(株)	0193-89-7120
	(有)大和	0193-86-2078
岩泉町	(有)岩泉衛生社	0194-22-2543
	中央第一総合(有)	0194-22-3434
田野畑村	(有)クリーン田野畑	0194-33-3033
	(有)田野畑リサイクル	0194-34-2224

し尿の汲取りについて

し尿の汲取りは、お住まいの地域の許可業者に依頼してください。

●し尿の汲取り料金

180ℓまで**1,161円**。180ℓを超える18ℓごとに**116円10銭加算**。

●し尿の収集運搬許可業者

地 域	業者名	電話番号	
宮古市	(株)宮古衛生社	0193-62-1997	
	宮古地域	(有)ニコニコ総合企業	0193-63-4690
		(有)文化衛生社	0193-63-5080
	田老地域	(有)田老衛生社	0193-87-2063
	新里地域	新里衛生社	0193-72-2378
川井地域	(株)川井衛生	0193-76-2514	
山田町	(有)三陸衛生社	0193-82-2476	
	貫洞衛生社	080-1667-7691	
	(有)マリン衛生社	0193-81-2555	
	(株)コバヤシ	0193-82-3030	
岩泉町	(有)岩泉衛生社	0194-22-2543	
	中央第一総合(有)	0194-22-3434	
田野畑村	(有)田野畑清掃社	0194-34-2650	

宮古消防本部通信指令センター



～多言語“119番”通訳サービス開始～

訪日外国人旅行者数は、ここ数年急速に増加し、2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、更なる増加が予想されており、外国人からの119番通報の対応が急務となっています。

宮古消防本部通信指令センターでは、外国人からの119番通報や災害現場に対応するため、平成30年6月1日から電話通訳センターを介した多言語電話通訳サービスを導入しています。

これにより、外国人からの119番通報や災害現場での活動において、より迅速かつ的確に対応することが可能になりました。

○通訳してくれる言語は？

「英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語」の5言語に対応します。

○対応時間は？

24時間365日、夜間休日を問わず対応します。

【外国人登録者数】

宮古地区	282人
岩手県	6,168人

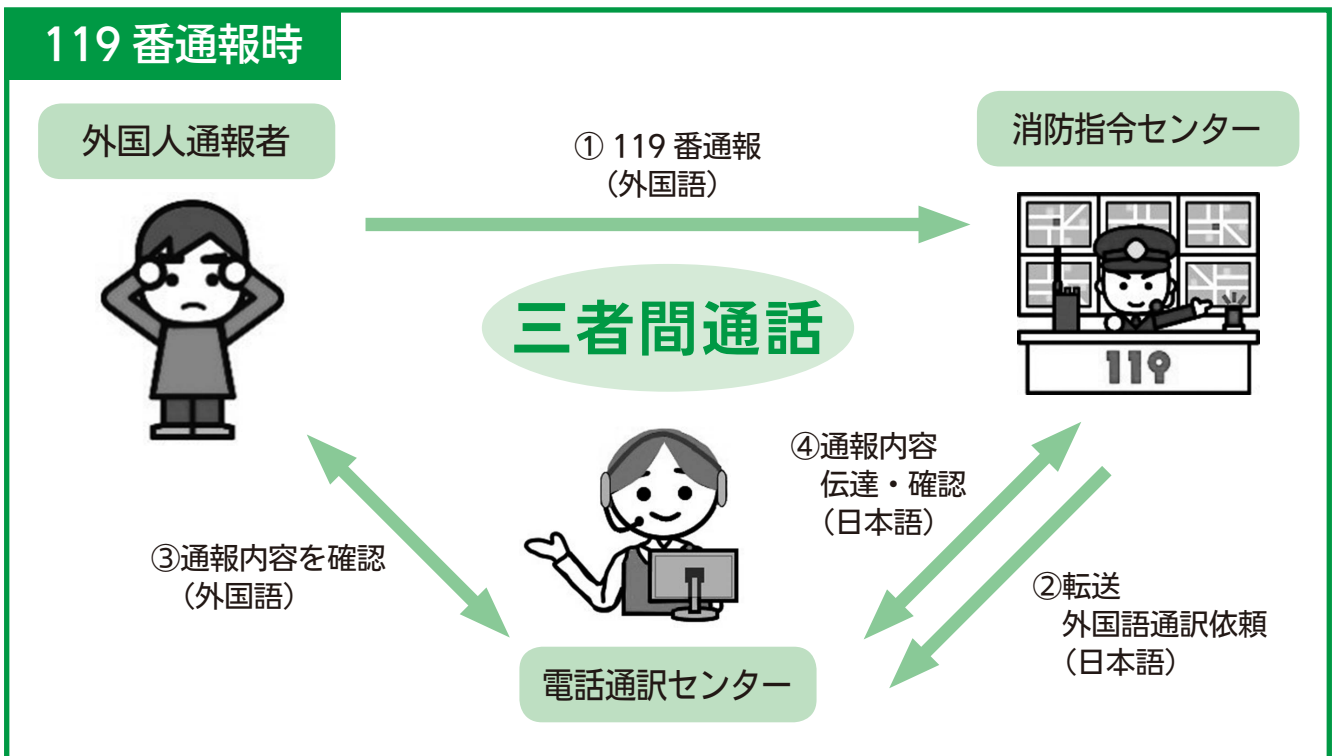
【観光客入込数】

宮古地区	2,776人
岩手県	163,230人

(平成28年「岩手県統計年鑑」より)

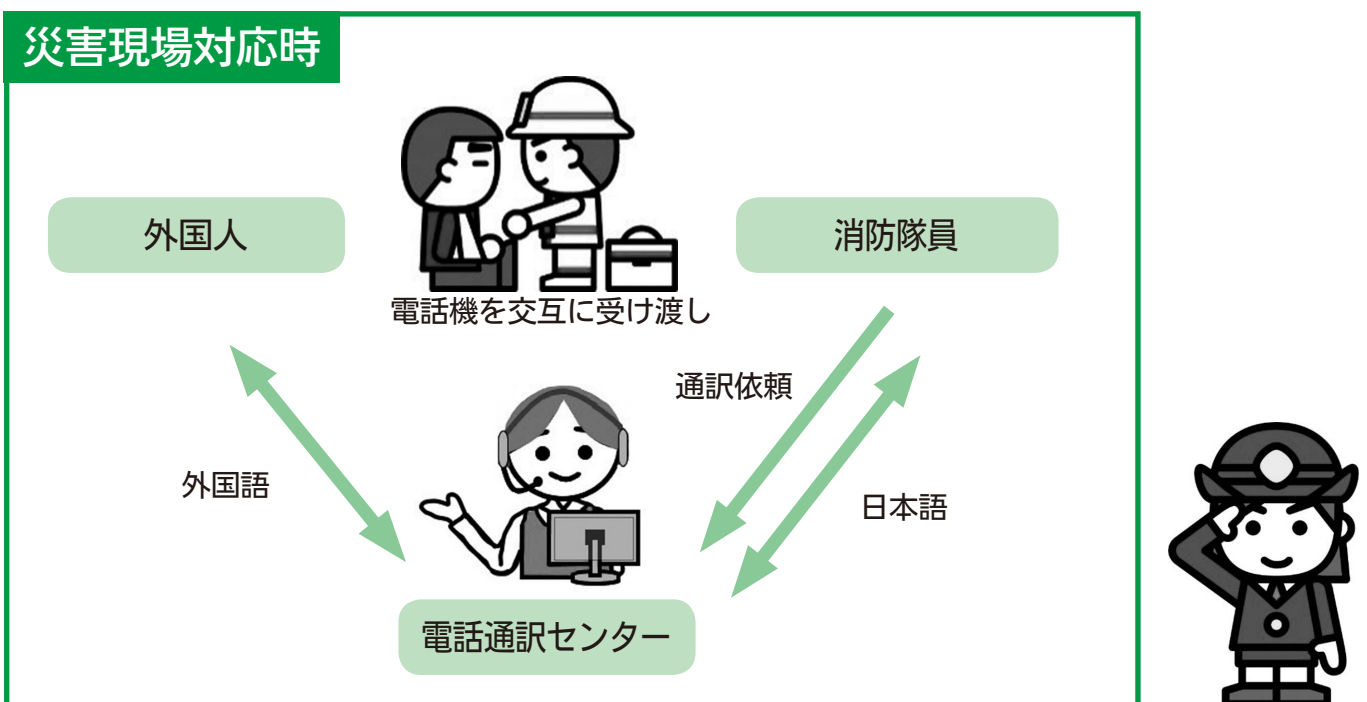
◆ 119 番通報時の多言語対応

日本語が話せない外国人からの 119 番通報を受信した場合、通信指令員が電話通訳センターに外国語通訳を依頼し、三者間通話により対応します。



◆ 災害現場での多言語対応

日本語が話せない外国人のいる災害現場では、消防隊員から電話通訳センターに通訳依頼し、電話機を外国人へ渡して電話通訳センターと通話してもらいます。その後に電話機を消防隊員が受け取り、電話通訳センターから聴取した内容を伝えてもらいます。



緊急消防援助隊岩手県大隊の活動報告 ～受援から応援へ～

昨年9月6日に発生したマグニチュード6.7（暫定値）の地震により、北海道胆振地方を中心に大きな揺れに襲われ、多くの人的被害に加え建物やライフラインに甚大な被害を受けました。この地震を受け、総務省消防庁長官より岩手県知事に緊急消防援助隊の出動の求めがあり、岩手県大隊18隊65名が宮古－室蘭フェリーを活用し、北海道へ派遣され活動してきました。

当消防本部は、平成23年の東日本大震災と平成28年台風第10号の2度にわたり、この緊急消防援助隊の応援を受けています。このたびの緊急消防援助隊としての派遣が、当消防本部にとっては初めての応援となりました。当消防本部から派遣された隊員は過去2度の受援経験を活かし、応援を受ける側の目線に立ち活動してきました。このたびの派遣で得た応援する側としてのノウハウや反省点を無駄にすることなく、いつ、どこでも起こりうる災害に備え日々訓練に励みます。

地震発生からまもなく4か月が経過しますが、未だ仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方々がいます。被災された方々の一日も早い復興を心からお祈りいたします。



岩手県大隊の集結場所となった宮古港フェリーターミナル

【岩手県大隊の活動概要】

□派遣期間

9月6日（木）～9月11日（火）

□派遣隊数

18隊 65名

（当消防本部、盛岡地区消防本部、花巻市消防本部、北上地区消防本部、奥州金ヶ崎地区消防本部）

□主な活動場所

北海道厚真町（富里地区など）

□主な活動内容

行方不明者の捜索、救急搬送など

□当消防本部の派遣隊数

消火小隊、救急小隊、後方支援小隊の3隊10名



宿営地となった厚真高等学校校庭

緊急消防援助隊とは・・・

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災を教訓に、全国の消防機関による応援を速やかに実施するため、平成7年度に創設されました。

平成30年4月時点で全国の消防本部から5,978隊が登録されています。

いざ、大災害が発生すると全国の部隊が一致団結して、国民の命を守ります。

今年度新たに2人の女性消防士が加わりました！

当消防本部は195名（平成30年10月1日現在）の消防職員が働いています。今年度新たに2名の女性消防士が加わり、現在は、4名（宮古署2名、山田署2名）の女性消防士が住民の安全と安心を守るため、日々業務に励んでいます。

今回、消防学校を卒業し、平成30年10月に新たに宮古消防署と山田消防署に配属された2名の女性消防士を紹介します。



新田消防士

宮古消防署の予防係として、主に防災活動に携わっています。今後は火災予防に関する知識を深めていき、災害の少ない地域づくりを目指す一員になれるように努力していきます。

また、現場活動では、救急救命士の資格を活かし、傷病者の方に寄り添い、「あな

たに対応してもらってよかった。」と言ってもらえるよう、日々訓練に励んでいきます。

消防士といえば男性というイメージが強いと思いますが、女性も必要とされている職場です。今後さらに女性消防士が増えるよう、活躍の場を広げていきたいと思えます。



佐々木消防士

山田消防署の救急係として、火災や救急、救助活動に従事しています。

女性消防士だからこそ出来る活動を心掛け、常に傷病者の気持ちに寄り添った活動をしていきたいと思っています。

今まで、家族や多くの方々に支えられて消防士になることが出来ました。感謝の気持ちを忘れることなく、日々の訓練に取り組み、目標である救急救命士を目指し挑戦していきたいです。

Profile



新田 悠乃（にったはるの）

宮古市出身
平成30年4月消防士
平成30年4月救急救命士資格取得
平成30年10月より宮古消防署で勤務し現在に至る。



佐々木 冴子（ささきさえこ）

山田町出身
平成30年4月消防士
平成30年10月より山田消防署で勤務し現在に至る。

宮古消防署 消防ポンプ自動車



消防車両の紹介

宮古消防署では、平成30年2月に消防ポンプ自動車（CD-I型）を2台更新しました。

消防ポンプ自動車は、火災現場ではほかの消防自動車に消火のための水を送ったり、自ら放水することもできます。また、近年頻発する自然災害にも出動しており、様々な現場で活躍する車両です。

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では緊急消防援助隊岩手県大隊として出動し、災害現場で活動にあたりました。

○主な仕様

配置年月	平成30年2月		
長さ	5.72 m	高さ	2.8 m
幅	1.89 m	総重量	5,735kg
駆動方式	四輪駆動	排気量	4,000cc
変速機	5速マニュアル	定員	5人

○主な特徴

電動式乗用ホースレイヤーを積載しています。ホースレイヤーは隊員1人が乗車し消防ホースを延長する資機材です。隊員1人で大量の消防ホースを延長することができ、迅速な消火活動に繋がります。

